

# Life いのち

大自然とともに暮らした縄文の人々  
 危険と隣り合わせの狩りや漁撈  
 病気との闘い、自然災害など、  
 「いのち」を繋いでいくことはとても大変な事だったはず  
 親や幼い子どもたちの  
 大切ないのちが失われる瞬間に何度も直面しながら  
 縄文の人々は何を祈り  
 どんな願いを託したのでしょうか  
 「いのち」と「再生」  
 縄文のココロに触れてみたい

## 土偶のモチーフ

土偶は造形や模様の特徴から、女性や妊婦さんをかたどったものが多いといわれています  
 無事に出産できますように、自然の豊かな恵みを祈り感謝をする気持ち…  
 縄文人はどんな思いをこめて土偶を作ったのでしょうか

国宝  
土偶



## 曲線と直線

「曲線の極小の一部は直線に近い。その一部をさらに細かくしていけばそれはほぼ直線に見える。しかし、それは決して直線ではない。」こう言ったのは20世紀前半に活躍したフランスの哲学者 アンリ・ベルクソンである。これは一つの真理。  
 同じように、「命とはなにか？」を考える場合、人体をどこまでも細分していく、遺伝子レベルまで辿り着いたとしても、曲線が直線ではないようにそれは決して「命」の本質ではない。ここに科学と哲学の境界がある。むしろ、自然の一員として一万年以上存続した縄文文化を学ぶことが「命とはなにか？」を探る究極の旅になるのではないかだろうか。

C.Abe

## Birth 誕生 のよろこび



顔面把手付深鉢  
(出産用土器)

山梨県北杜市津金御所前遺跡出土  
山梨県北杜市郷土資料館所蔵

口縁に母親、胴部に誕生の瞬間の赤ちゃん



子抱き土偶

東京都八王子市宮田遺跡出土  
国立歴史民俗博物館所蔵

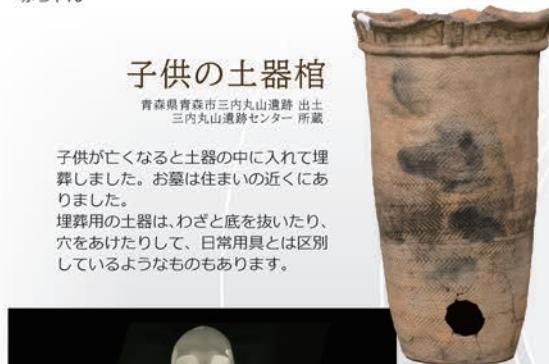
横座りをして赤ちゃんに授乳している姿



土偶

北海道千歳市美々4遺跡出土  
北海道埋蔵文化財センター所蔵  
 乳房と下腹部にふくらみがあり、妊婦の姿ではないかとされています。  
 お墓の上にうつぶせの状態で出土しました。

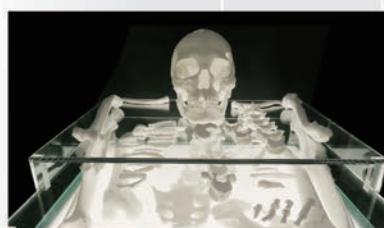
## Death 死 のかなし



子供の土器棺

青森県青森市三内丸山遺跡出土  
三内丸山遺跡センター所蔵

子供が亡くなると土器の中に入れて埋葬しました。お墓は住まいの近くにありました。  
 埋葬用の土器は、わざと底を抜いたり、穴を開けたりして、日常用具とは区別しているようなものもあります。



妊婦と胎児の骨  
(レプリカ)

北海道洞爺湖町高砂貝塚出土  
入江高砂貝塚所蔵

妊娠中の女性と胎児の骨が一緒に丁寧に埋葬されていました。



足形付土版

北海道函館市島遺跡出土  
函館市縄文文化交流センター所蔵

親のお墓から出土しました。  
 亡くなった子供の足形を取り、住まいに吊るしていたといわれています。